

# 令和 7 年 地下水揚水量報告書の記入要領

## 1 報告対象期間

令和 7 年 1 月 1 日から令和 7 年 12 月 31 日までの 1 年間  
年の途中で休止・廃止又は設置した場合も報告の対象となります。  
(記入方法は、7 ページを参照してください。)

## 2 報告内容

第 18 号様式(表紙)・・・揚水施設の届出者名、事業所の概要の記入  
(押印は不要ですが、代表者等の承認を得た上で  
ご提出ください。)

別紙 1 ……事業所の総揚水量データ

別紙 2 ……井戸ごとの揚水量データです。温泉井戸、休止井戸、非常用等も  
含めて、井戸の本数分作成してください。  
事業所にある井戸が 1 本の場合は不要です。

## 第 18 号様式(表紙)

第 18 号様式 (第 45 条関係)

地下水揚水量報告書

年 月 日

東京都知事 殿

住所

氏名

(法人にあっては名称、代表者の氏名及びその事業所の所在地)

第 97 条  
第 135 条

国民の健康と安全を確保する環境に関する条例  
揚水量を次のとおり報告します。

工場・指定作業場又は その他の事業場等の名称			
工場・指定作業場又は その他の事業場等の所在地			
業種・作業の種類			
揚水施設の数	本	電話番号	地下水施設担当者の氏名
地下水揚水量	△別紙 ( ) のとおり		
揚水機出力 (kW)			
年間水取別水使用量	地下水	上水道	工業用水道
(m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
(その割合)	(%)	(%)	(%)
中気付量	備考		
	1 吐出断面 (断面に○) 6 以下 6 以上 21 以下 21 以上		
	2 設置年月日 (設置に○) 平成 13 年 3 月 31 日以前設置 平成 13 年 4 月 1 日以降設置		

備考 中気付量には記入しないこと。

(日本産業規格 A 列 4 番)

## 別紙1、2

地下水揚水記録 ( 年分)

別紙 1 (総計用)

月	日	揚水量 (m <sup>3</sup> )	用途別揚水量内訳 (m <sup>3</sup> )							日平均揚水量 (m <sup>3</sup> )	日最大揚水量 (m <sup>3</sup> )	水位 (m)	水温 (℃)
			製造工程用	冷却用	暖房用	水洗便所用	農業用	公衆浴場用	その他 ( )				
1月													
2月													
3月													
4月													
5月													
6月													
7月													
8月													
9月													
10月													
11月													
12月													
計													

備考 1 揚水施設が 1 以上あるときは、総計用のほか、各揚水施設別に別紙を使用して記入すること。  
2 「1」は平均揚水量、の欄は、揚水量を算出 (例 1 日、2 日、3 日又は 24 日) で算出した量で記入すること。  
3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は空白で記入すること。  
4 水位はその月の最低値を記入すること。

別紙2 揚水施設ごとのデータ ⇒ 別紙1 事業所総計 ⇒ 表紙

(井戸が 1 本の場合は不要)

の順番で作成すると、効率的に作成できます。

### 3 揚水量データの記入

#### (1) 記入方法

記入例を参考にして、設置している量水器(水量メーター)の記録に基づき、井戸ごとに、月ごと・用途ごとの揚水量を集計し記入します。

(平成 13 年4月以降設置の揚水施設には、量水器の設置が義務付けられています。)

※ 用途の区分は、巻末の「別表 用途区分(別紙1、2用)」を参照。

★用途の「その他」のうち複数項目が該当する場合は、コード番号ごとに列を設けて、それぞれ集計して記入してください。その際、使用しない欄の用途を書き換えて、記入しても構いません。(6 ページ参照)

★用途ごとに水量を計測していない場合でも、通常の使用比率等で合計値を案分して用途ごとに振り分けて記入してください。

★古い井戸で、量水器を設置していない場合は、水道事業者が発行する「水道・下水道ご使用量のお知らせ」、「水道料金・下水道料金請求書」又は「水道ご使用量・今回料金等のお知らせ」を参照するか、各営業所にお問い合わせください。「お知らせ」などから 2 か月間の使用量が読み取れますので、1 か月ずつに分けて報告書に記入してください。

★1日平均揚水量は、揚水量を暦日数(1年は 365 日、1月は 31 日、6月は 30 日など)で割算した値を記入してください。

★静止水位、揚水水位、水温などのデータがあるときは、その月の最低値を記入してください。

#### (2) 単位、数字の取り扱い方

水量の単位は、いずれも  $\text{m}^3$ (立方メートル)です。L(リットル)ではありませんので注意してください。

なお、1t(トン) =  $1\text{m}^3$ (立方メートル)

1L(リットル) =  $0.001\text{m}^3$ (立方メートル) です。

原則として、小数点以下第1位を四捨五入した数字(整数)を記入します。

ただし、 $10\text{m}^3$  未満の場合は小数点以下第1位まで記入してください。

注)お問合せの際に双方で確認できるよう、お手元に写し(コピー)を保管しておいてください。

控えの返送はありませんので、受領印を押した控えが必要な場合は、提出部数を 1 部追加し、切手を貼った返信用封筒を必ず同封して送付してください。メールの場合は、控えの返送が必要な旨を本文に記載してください。

## 第 18 号様式(表紙)

第 18 号様式 (第 45 条関係)

### 地 下 水 揚 水 量 報 告 書

〇〇市長 殿

住所 〇〇区△△町 9-9-9

株式会社〇〇〇〇〇

氏名 代表取締役 東京 太郎

(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例

第 97 条  
第 135 条

の規定により、地下水の

揚水量を次のとおり報告します。

工場・指定作業場又はその他の事業場等の名称	株式会社〇〇〇〇〇 △△工場			
工場・指定作業場又はその他の事業場等の所在地	〇〇区△△町 9-9-9			
業種・作業の種類	食料品製造業			
揚水施設の数	1 本	揚水施設担当者所属氏名 越後課 新宿一郎 電話番号 03-XXXXX-XXXX		
地下水揚水量	3,060 m <sup>3</sup> △別紙 ( 1 ) のとおり			
揚水機の出力 (kW)	1.5 kW			
年間水源別水使用量	地下水	上水道	工業用水道	その他
61,200 (m <sup>3</sup> ) (その割合)	3,060 m <sup>3</sup> ( 5 %)	58,140 m <sup>3</sup> ( 95 %)	( ) %	( ) %
※受付欄	備 考 1 吐出口断面積 (該当に○) 6 cm以下 6 cm超～21 cm以下 21 cm超 2 設置年月日 (該当に○) 平成 13 年 3 月 31 日以前設置 平成 13 年 4 月 1 日以降設置			

提出は、揚水施設を設置している法人又は個人(届出者)となります。  
住所(法人の所在地)・法人名(名称)・代表者名(又は個人名)を記入してください。

押印は不要ですが、代表者等の承認を得た上でご提出ください。

主たる業種や形態を分かるように記入してください。

原則、ポンプでくみ上げを行う全ての揚水施設が対象です。

内容についてお問合せをすることがあります。報告書を記入された方の連絡先を記入してください。

事業所で使用している、「総水使用量」です。各水源を合計してください。

地下水使用量は、別紙1の総合計と同じ数値になります。

吐出口断面積(事業所内合計)、井戸の設置年について、該当するものに○をしてください。

(日本産業規格 A 列 4 番)

## 別紙 1

別紙 1 は、事業所の揚水量総計を記入する用紙です。

事業所内の井戸が 1 本の場合は、別紙 2 の記入例を参考にして、別紙 1 に記入してください。

別紙 2 の合計を別紙 1 に記入します。

用途ごとに水量を計測していない場合は、通常の使用比率等で合計値を案分して、用途ごとに振り分けて記入してください。

地下水揚水記録 ( 〇〇 年分)

事業所の名称

別紙 1 (総計用)

事業所名 株式会社〇〇〇〇 △△工場

稼働日数	揚水量 (m³)	用途別揚水量内訳 (m³)							一日平均揚水量 (m³)	日最大揚水量 (m³)	水位 (m)		水温 (℃)
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 (1 飲用) (2 散水用)			静止水位	揚水水位	
1月	20	200	135					15 50	6.5	1.5	3	8	17
2月	19	180	135					15 30	6.4	1.2	3	9	17
3月	22	260	210					20 30	8.4	1.1	3	9	17
4月	22	270	210					20 40	9.0	1.5	3	8	18
5月	23	290	220					20 50	9.4	1.4	3	9	18
6月	22	280	210					30 40	9.3	1.3	3	8	18
7月	23	290	210					30 50	9.4	1.7	4	10	18
8月	19	260	130					30 100	8.4	1.4	4	10	18
9月	22	280	150					30 100	9.3	1.5	4	8	18
10月	23	300	230					20 50	9.7	1.5	3	8	17
11月	22	280	210					20 50	9.3	1.5	3	9	17
12月	19	170	125					15 30	5.5	1.0	3	9	17
計	256	3,060	2,175					265 620	8.4	1.7			

表紙の「地下水使用量」と同じ値

備考 1 揚水量が 150m³ 未満の場合は、総計用のほか、各揚水施設別に別紙を使用して記入すること。  
2 「1 日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日の数 (例 1 月：31 日、2 月：28 日又は 29 日) で除した値で記入すること。  
3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。  
4 水位はその月の最低値を記入すること。

その他の用途のコードは、この要領の巻末に一覧表がついています。複数種類がある場合は、枠を分けてそれぞれ記入してください。

事業場に井戸が 1 本の場合は、水位・水温は別紙 1 に記入。月の最低値を記入します。

一日平均揚水量 (月ごと) は、  
揚水量 ÷ (暦日) です。

例) 1 月の平均は月の稼働日が 20 日でも、  
 $200(\text{m}^3) \div 31(\text{日}) = 65(\text{m}^3/\text{日})$  です。  
一日平均揚水量 (年) は、  
 $3,060(\text{m}^3) \div 365(\text{日}) = 84(\text{m}^3/\text{日})$  となります。

## 別紙 2

別紙2は井戸ごとの揚水量を記入する用紙です。

用途ごとに水量を計測していない場合は、通常の使用比率等で合計値を案分して、用途ごとに振り分けて記入してください。

井戸の名称

事業所の名称

地下水揚水記録 ( 〇〇年分 )

別紙2 (揚水施設の名称又は番号: **No. 1号井**) 事業所名 **株式会社〇〇〇〇〇 △△工場**

稼働日数	揚水量 (m³)	用途別揚水量内訳 (m³)							一日平均揚水量 (m³)	日最大揚水量 (m³)	水位 (m)		水温 (℃)
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 (2 載水用)			静止水位	揚水水位	
1月	20	160	135					25	5.2	8.0	3	8	17
2月	19	150	135					15	5.4	8.0	3	9	17
3月	22	225	210					15	7.3	10	3	9	17
4月	22	230	210					20	7.7	10	3	8	18
5月	23	245	220					25	7.9	10	3	9	18
6月	22	230	210					20	7.7	10	3	8	18
7月	23	235	210					25	7.6	9.0	4	10	18
8月	19	180	130					50	5.8	7.0	4	10	18
9月	22	200	150					50	6.7	8.0	4	8	18
10月	23	255	230					25	8.2	10	3	8	17
11月	22	235	210					25	7.8	10	3	9	17
12月	19	140	125					15	4.5	6.0	3	9	17
計	256	2,485	2175					310	6.8	10			

備考 1 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を稼働日数（例：1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。  
 2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。  
 3 水位はその月の最低値を記入すること。

その他の用途のコードは、この要領の巻末に一覧表がついています。複数種類がある場合は、枠を分けてそれぞれ記入してください。

一日平均揚水量(月ごと)は、  
揚水量 ÷ (暦日) です。

例) 1月の平均は、稼働日が 20 日でも、  
 $160(\text{m}^3) \div 31(\text{日}) = 52(\text{m}^3/\text{日})$  です。  
 一日平均揚水量(年)は、  
 $2,485(\text{m}^3) \div 365(\text{日}) = 68(\text{m}^3/\text{日})$   
 と求めます。

## その他の用途が複数ある場合の例

地下水揚水記録 ( 〇〇 年分 )

事業所名 株式会社〇〇〇〇〇 △△工場

✕ 3つの用途の  
合計値を 1 列で記入  
してしまっています。

	月	日	揚水量 (m³)	用途別揚水量 (m³)	その他 (1, 2, 4)	一日平均揚水量 (m³)	日最大揚水量 (m³)	水位 (m)		水温 (℃)
								静止水位	揚水水位	
					25	5.2	8.0	3	8	17
					15	4	8.0	3	9	17
3月	22		225	210	15	3	10	3	9	17
4月	22		230	210	20	7	10	3	8	18
5月	23		245	220	25	9	10	3	9	18
6月	22		230	210	20	7	10	3	8	18
7月	23		235	210	25	6	9.0	4	10	18
8月	19		180	130	50	8	7.0	4	10	18
9月	22		200	150	50	7	8.0	4	8	18
10月	23		255	230	25	8.2	10	3	8	17
11月	22		235	210	25	7.8	10	3	9	17
12月	19		140	125	15	4.5	6.0	3	9	17
計	256		2,485	2175	310	6.8	10			

備考 1 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数（例 1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。  
2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。  
3 水位はその月の最低値を記入すること。

望ましい例

○ 3つの用途に案分します。

例) 飲用にはいつも同じ量を使い、そのほかは、散水と洗濯に半分ずつ使用している場合

明確な根拠が無い場合でも、設置者様の考える案分で数値の記入をお願いします。

地下水揚水記録 ( 〇〇 年分 )

事業所名 株式会社〇〇〇〇〇 △△工場

別紙2 (揚水施設の名称又は番号: No. 1号井)

	月	日	揚水量 (m³)	用途別揚水量内訳 (m³)			一日平均揚水量 (m³)	日最大揚水量 (m³)	水位 (m)		水温 (℃)			
				その他 (1 洗車・散水)	その他 (2 散水)	その他 (4 洗濯)			静止水位	揚水水位				
				5.0	10	10	5.2	8.0	3	8	17			
				5.0	5.0	5.0	5.4	8.0	3	9	17			
				5.0	4.1	6.0	7.4	10						
				5.0	7.0	8.1	7.7	10						
				5.0	10	10	7.9	10						
				5.0	7.0	8.0	7.7	10						
				5.0	10	10	7.6	9.0						
				5.0	22	23	5.8	7.0						
				5.0	22	23	6.7	8.0						
				5.0	10	10	8.2	10						
				5.0	10	10	7.8	10						
12月	19		140	125			5.0	5.2	5.2	4.5	6.0	3	9	17
計	256		2,485	2175	60	122	128	6.8	10					

備考 1 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数（例 1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。  
2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。  
3 水位はその月の最低値を記入すること。

「その他」の用途が2つ以上ある場合は、使わない欄の用途を書き換えて、記入してください。

## 1 年間稼働しなかった場合の記入例

地下水揚水記録 (□□ 年分)

別紙2 (揚水施設の名称又は番号: **No. 1号井**) 事業所名 **株式会社**

稼働日数	揚水量 (m³)	用途別揚水量内訳 (m³)							一日平均揚水量 (m³)	日最大揚水量 (m³)
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 ( )		
1月										
2月										
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
計	0	0								

備考 1 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数 (例 1月: 31日、2月: 28日又は29日) で除した値で記入すること。  
2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。  
3 水温度は10℃以上の値を記入すること。

1年間、1日も稼働しなかった場合は、稼働日数と揚水量に「0」を記入してください。

## 年の途中で休止(廃止)になった場合の記入例

地下水揚水記録

別紙1 (総計用)

稼働日数	揚水量 (m³)	用途別揚水量内訳 (m³)							一日平均揚水量 (m³)	最大揚水量 (m³)	静止水位	揚水水位	水温 (℃)
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 (1 飲用) (2 排水用)					
1月	20	200	135					15 50	6.5	15	3	8	17
2月	19	180	135					15 30	6.4	12	3	9	17
3月	22	260	210					20 30	8.4	11	3	9	17
4月	22	270	210					20 40	9.0	15	3	8	18
5月	23	290	220					20 50	9.4	15	3	9	18
6月	22	280	210					30 40	9.3	15	3	8	18
7月	以降、休止(廃止)												
8月													
9月													
10月													
11月													
12月													
計	128	1,480	1,120					120 240	4.1	15			

備考 1 揚水施設が2以上あるときは、総計用のほか、各揚水施設別に別紙を使用して記入すること。  
2 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数 (例 1月: 31日、2月: 28日又は29日) で除した値で記入すること。  
3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。

年の平均は、暦日の365日で割ります。  

$$1,480(\text{m}^3) \div 365(\text{日}) = 4.1(\text{m}^3/\text{日})$$
と求めます。

注) 年の途中で廃止した場合は、手続きが必要です。

- ・工場・指定作業場 (軽微な変更又は届出をお願いします。)
- ・上記以外の事業者・個人 (届出をお願いします。)

別表 用途区分（別紙1、2用）

用 途	用途別の内容	
製造工程用	製造工程に関する全ての用途に使用（食品原料用に使用するものを含む。）	
冷 却 用	工場の機械冷却設備や製品冷却のために使用	
冷暖房(空調)	暖房ボイラー、冷房用冷凍機、クーリングタワー等、室内空調用などに使用	
水洗便所用	水洗便所用に使用（し尿浄化槽を含む。）	
洗車設備用	自動車洗車設備用	
公衆浴場用	公衆浴場用（銭湯、スーパー銭湯、サウナ風呂等の特殊浴場を含み、旅館、病院等の浴室用は除く。）	
そ の 他 （コード番号を選択して記入してください。）	1	飲用（飲料水、厨房など）
	2	環境用水（水質改善を目的とした池・水路への補給、植栽用・散水など環境保全に使用）
	3	プール等、公衆浴場用以外の浴用（旅館、病院等の浴室用）
	4	洗濯（クリーニング工場、コインランドリー等を含む。）
	5	排水処理・排ガス処理（し尿処理用希釈水を含む。）
	6	釣堀等（生簀・動物飼育用に使用するものを含む。）
	7	土壌汚染対策用、地下水汚染対策用
	8	非常災害用（非常災害用揚水設備等の維持管理で揚水するものを含む。）
	9	農業用、その他上記のどれにも属さないもの

再利用使用する場合は、最初の用途を選択してください。

例) 井戸 → 冷却水使用 → タンク → 床清掃使用 → 排水 の場合、「冷却用」を選択